

# 主題「情報モラル教育の実践」

副題 ～各教科での取り組みから～

さいたま市立春野中学校

## 1. ねらい

本校の生徒の多くは、コンピュータや携帯電話を通してインターネットを利用している。必要な情報を手軽に、迅速に収集できるため、実生活のさまざまな場面で活用されている一方、情報モラルに関する問題も指摘されている。これからは、学校教育の中で、情報末端を利用するためのルールやマナーを生徒たちに身に付けていく必要がある。そこで、本校では、情報に関わるトラブルの対処法等を考えさせるとともに、各教科での情報機器を活用した授業実践を通じ、コンピュータ等の適切な活用方法を習得させることをねらいとした。

## 2. 指導計画

### (1) 情報モラル、セキュリティの研修

- ① 校務用末端等の利用とネットワークの実践的な活用方法を検討する。
- ② 情報管理の事例研修を進め、情報漏洩を防ぐための手だてを考える。

### (2) 教職員一人ひとりの情報活用能力を向上させるための研修

- ① 授業で使うための機器活用の研修、授業で機器を活用するための研修を行う。
- ② 授業での機器の活用方法を共有化し、効果的な機器の使用を工夫する。

### (3) 教育活動への情報機器の導入と活用

- ① 各教科の授業での情報機器の導入、使用するための活用方法を研究する。
- ② 総合的な学習の時間、特別活動などにおける活用を研究する。
- ③ 教科・領域以外での教育活動での活用を研究する。
- ④ 校内のLANと接続し、インターネットの活用方法を研究する。

## 3. 指導実践例

### 【教科での実践】

- (1) 社会(教室でインターネットに接続し、グーグルアースを活用 e-黒板を活用)
- (2) 数学(「相似な図形」「平行と合同」「1次関数」で証明や説明に機器を活用)
- (3) 美術(鑑賞「美術館巡り」)
- (4) 技術・家庭(調理実習の手順説明・まつり縫いの実演)
- (5) 英語(Warm-up Show & Tell)

### 【領域での実践】

- (1) キャリア教育の中での実践(上級学校調べ発表, 未来くるワーク発表 等)
- (2) ケータイ安全教室の実施(全校)
- (3) 文化祭での活動(作品展示の説明)

## 4. 成果と今後の課題

過去の研究をもとに、多くの教職員が機器を使って授業をすることを継続している。今後は、校務用末端のさらなる活用方法を検討するとともに、情報モラルに関する教職員の研修等も充実させたい。